

# 「介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業実施業務(移乗介助(非装着))」 について(厚生労働省委託事業)

## 1 目的

介護ロボットを導入する際に使用方法の周知だけでなく、介護ロボットを活用した介護技術の開発までを支援し、介護ロボットが介護現場において効果的に活用されることにより、本市が目指す「先進的介護」の実現に向けた取組の具現化を図ることを目的とする。

## 2 内容

事業の受託にあたり、以下の(1)～(6)の取組みを求められている。

### (1) 介護業務上の課題の分析

介護従事者に対するヒアリング、タイムスタディ等の評価を通じて、業務の心理的、身体的負担や介護システム全体の流れ、人員配置、利用環境などの問題点を抽出して整理・分析を行い、解決すべき課題を明らかにする。

### (2) 課題解決に向けた介護ロボットの導入計画の立案

課題に対する解決策を検討し、導入すべき介護ロボットについて、目的要件、製品名、機能的特徴、安全性、有効性等についての概要を明らかにした介護ロボットの導入計画を立案する。

### (3) 介護ロボット活用のための導入研修

介護ロボットの導入に際して必要な機器の利用方法、注意事項等に関する、介護従事者に対する研修を行う。

### (4) 実証評価

介護ロボットの導入による効果を明確にするために、介護業務上の課題に対する介護方法や介護業務全体の効果と介護ロボットの有効性を示す客観的な評価指標を明確にした上で実証計画を作成し、計画に基づいて実証評価を行う。

### (5) 介護ロボット導入マニュアルの作成

上記(1)～(4)までの実施内容を踏まえて、介護ロボットを介護現場で効果的に活用するための導入マニュアルを作成する。

### (6) 介護ロボットを活用した介護方法の手順書作成

介護現場全体の業務の中で、介護ロボットを活用した作業手順や作業動作、施設レイアウト等を考慮して効果的な介護方法を取りまとめた手順書を作成する。

### 3 北九州市の提案（概要）

#### 「介護ロボット等を活用した介護現場の働き方改革（北九州モデル）推進事業」

##### （1）考え方

本市は、これまでの取組みから、移乗介助は介護職員の不良姿勢が多く出現していることをデータとして把握している。

また、移乗介助は施設入居者が食事や排泄、入浴等のための移動に不可欠な介助であり、介護ロボットを活用した移乗介助方法の確立は介護職員の負担軽減、入居者の自立支援の促進につながるものと考え、「移乗介助」分野に提案。

##### （2）本市提案の特徴

厚生労働省が求める上記の取組みについては、すでに本市はこれまでの取組みにおいてノウハウや実績が蓄積されており、今回の受託により、本市の取組みの精度をより一層高めることとしている。

さらに、本市は今回の受託事業を通じ、介護ロボットを活用しない介護手順書の作成により介護職員のスキルアップを図るとともに、高齢者等によるロボット操作の実証などによる人員配置を含む新たな介護現場の働き方の検討も行うなど、厚生労働省の仕様書から一歩進んだ提案を行った。

##### （3）所要額（入札額）

約2,200千円